

くらし・福祉・子育て **3つの願い** 実現めざし、 小島昌治とともに“声”をあげましょう



消費税10%への増税が云われている中、くらし・子育て・老後の不安が広がっています。町政には、国の悪政から町民を守る“防波堤”の役割発揮が求められます。小島昌治議員の提案をご紹介します。

高すぎる 下水道料金引き下げ
5000万円繰り入れで、大幅値上前に戻せます

そもそも大幅値上げは、町の財政が大変苦しかった（全国の市町村の中で下から20番目）ときに、一般会計から下水道会計に繰り入れしていた8千万円を削ったからでした。

いまでは町の財政は大幅に改善され、この6年間は毎年3億円前後の黒字です。ですから、今は5千万円を繰り入れすれば、大幅値上前の下水道料金に戻せます。



国保税 子どもの「均等割」ゼロに！
350万円ですみます

町の「国民健康保険会計」には、2億円以上の「基金」があるので、町長と議会の決断次第です。

小中学校の給食費
せめて2人目は無料に

志賀町と中能登町は2人目無料です

県内では、中能登町と志賀町で2人目以降は無料にしています。宝達志水町でも「2人目無料」を実現させましょう。全国では、「無償化」「一部無償化」を3割近くの自治体が行っており、鹿児島県は62・8%、群馬県は60%、山梨県は55・6%の市町で実施しています。

■「義務教育は、これを無償とする」（憲法26条）となっていますが、制服代、給食費、ドリル代…など、多くの負担があります。「完全無償化」が日本共産党の提案です。

「保育所・小学校の統廃合は地域の納得のまじりかめなさい」

町議会の「小学校及び保育所統廃合特別委員会」（委員長・小島昌治議員）は、11月議会で、以下の3点を全会一致で決議しました。（要旨）

- ① 保護者や地域に納得のいく説明を十分だと感じるまで行うこと。
- ② それが果たしてきた「子育てと地域の交流」の機能を守る代替案を提示すること。
- ③ 統廃合の是非は、子どもを中心に考えること。

